

【国際ワークショップ】

中国の日本研究の現在と未来

——歴史・文学・宗教からのまなざし

主旨：中国の日本研究者は日本をどのように理解しているだろうか。このたび、中国の大学の研究者を招き、歴史・文学・宗教および民俗学などの多様な分野からの日本研究を紹介する。それに対して、日本側からの質疑応答、活発な議論を経て、日本研究の新しい方向を探索する。

開会の辞 (14:00～14:15) 劉曉峰 司会 森岡優紀

第一部 報告 (14:15～16:30)

第一報告 14:15～15:00 王成 「大正教養について」

第二報告 15:00～15:45 楊際開 「辛亥革命と日本」

第三報告 15:45～16:30 劉曉峰 「大嘗祭研究の可能性」

第二部 ディスカッション (16:45～18:00)

報告者紹介

劉曉峰 (清華大学教授)・日本歴史、民俗学

『東アジアの時間——歳時文化の比較研究』 中華書局、2007 年

王成 (清華大学教授)・日本近現代史、比較文学・文化

『「修養の時代」で読む文学——日本近現代文学研究』 北京大学出版社、2013 年

楊際開 (杭州師範大学国学院教授)・東アジア政治思想史

『清末変法と日本：宋恕の政治思想を中心に』 上海古籍出版社、2010 年

予約不要・聴講無料

日時：平成 26 年 7 月 9 日 (水) 14:00～18:00

場所：京都大学百周年時計台記念館 2F 会議室Ⅱ

使用言語：主要使用言語は日本語。中国語は必要に応じて通訳をつける。

お問い合わせ先：森岡優紀 (京都大学人文科学所・学術振興会特別研究員)

y.morioka@zinbun.kyoto-u.ac.jp

若松大祐 (京都大学アジア研究教育ユニット研究員)

wakamatsu.daisuke.8v@kyoto-u.ac.jp